

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年9月4日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

| | |
|--------------|--|
| 排出削減事業名 | 半導体検査工場におけるヒートポンプの導入による熱源設備の更新 |
| 承認番号 | KC0957 |
| 排出削減事業者名 | 株式会社菱進テック |
| 排出削減共同実施事業者名 | 丸紅株式会社 (その他関連事業者名：なし) |
| 事業実施場所 | 株式会社 菱進テック (住所：愛媛県西条市ひうち18番地9) |
| 事業の概要 | 半導体検査工場における冷凍機を高効率機器に更新することにより、エネルギー消費量および二酸化炭素排出量の低減を図る。 |
| 排出削減 | 【限界電源二酸化炭素排出係数使用】 2010年度： 145 tCO ₂ 2011年度： 365 tCO ₂ 2012年度： 298 tCO ₂ 2013年度： 367 tCO ₂ 2014年度： 369 tCO ₂ 2015年度： 353 tCO ₂ 2016年度： 376 tCO ₂ 2017年度： 376 tCO ₂ 2018年度： 237 tCO ₂ (事業実施期間合計 2,886 tCO ₂) 【全電源二酸化排出係数の場合(参考値)】 2010年度： 84 tCO ₂ 2011年度： 230 tCO ₂ 2012年度： 229 tCO ₂ |

| | |
|-----------|---|
| | 2013年度： 410 tCO2 2014年度： 399 tCO2 2015年度： 382 tCO2 2016年度： 372 tCO2 2017年度： 372 tCO2 2018年度： 235 tCO2 （事業実施期間合計 2,713 tCO2） |
| クレジット認証期間 | 開始日 2010年5月26日 終了予定日 2018年5月25日 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号002: ヒートポンプの導入による熱源設備の更新 |

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日～2018年5月25日（第4回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 排出削減量 | 1,382tCO2 （2013年4月1日～2018年5月25日） |
|-------|-------------------------------------|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 実績確認手続き |
|--------------------------------------|--|
| 排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること | 排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 導入設備の”電力日誌”、集計データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。 |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されて | 排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 |

| | |
|----------------------------------|--|
| <p>いること</p> | <p>導入設備の電力使用量は、毎日定刻に“電力日誌”に記録され、パソコンの集計表に入力・集計されてことをデータ及びモニタリング担当者へのヒアリング並びに電力日誌の確認でんり x yにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 “電力日誌”のデータ並びに使用量の集計データ及びモニタリング担当者へのヒアリングにより、電力使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認 導入設備の電力使用量の集計データ及び、事業者へのヒアリング並びに J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2等により、排出削減量の算定式及び使用されている電力の単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果を電力使用量の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p> |
| <p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p> | <p>今回の実績確認対象期間は 2010年5月26日から 2018年 5月25日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2018年5月25日となっているため、クレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。□</p> |

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画から変更がされていたが、排出削減事業計画に影響する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算662 kL、25,657.2GJであることを確認した。

以上